

平成29年度 第1回 消費生活モニターアンケート集計

1 調査趣旨

I 消費生活とごみの減量・リサイクルについて

川崎市では、平成25年9月からプラスチック製容器包装の分別収集の全市拡大と普通ごみの収集回数を週2回へと変更した結果、市民の皆様の御協力により、普通ごみ収集量が減少し、平成27年4月から3つの処理センターでごみを処理する体制とすることができました。

今後も地球環境にやさしい持続可能なまちの実現をめざした取組を推進していくために、3R（アンケート問2の解説を参照）を基本としたライフスタイルへの転換が求められています。そこで、今回は、川崎市のごみの減量・リサイクルの取組を知っていただくとともに、ごみに関する消費者の実態と意識を調査し、今後の行政の参考資料とするためにアンケートを実施しました。

II 節電・省エネ等について

東京電力管内では、今夏は一定の予備率が確保できる見込みとなっておりますが、電力需給バランスの確保のため、引き続き無理のない範囲での節電・省エネに御協力をお願いしています。川崎市では昨年を取組を踏まえ、「平成28年度川崎市電力需給対策推進基本方針」を策定し、日常生活の中で一人ひとりが工夫し、無駄な電力を使わないことや先端技術の活用などにより、スマートなライフスタイルを定着させていくことで、二酸化炭素（CO₂）の削減や地球温暖化防止の取組を進めています。今回は、このようなスマートライフスタイルの定着に向け、節電や省エネ等に関する意識を調査し、今後の施策の参考とするため、アンケート調査を実施しました。

2 調査事項

①消費生活とごみの減量・リサイクルについて

②節電・省エネ等について

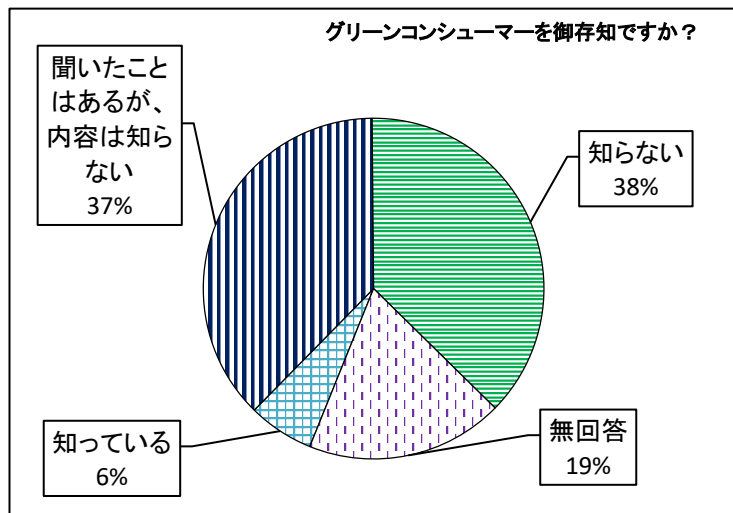
- | | |
|-----------|--------------------|
| 3 調査対象 | 平成29年度消費生活モニター 17名 |
| 4 調査方法 | 郵送（往復） |
| 5 回答数・回答率 | 16通・94.1% |



I 消費生活とごみの減量・リサイクルについて

【問1】 環境に配慮した行動をする消費者のことを「グリーンコンシューマー」と呼んでいますが、その行動などについて伺います。

1 グリーンコンシューマーを御存知ですか。

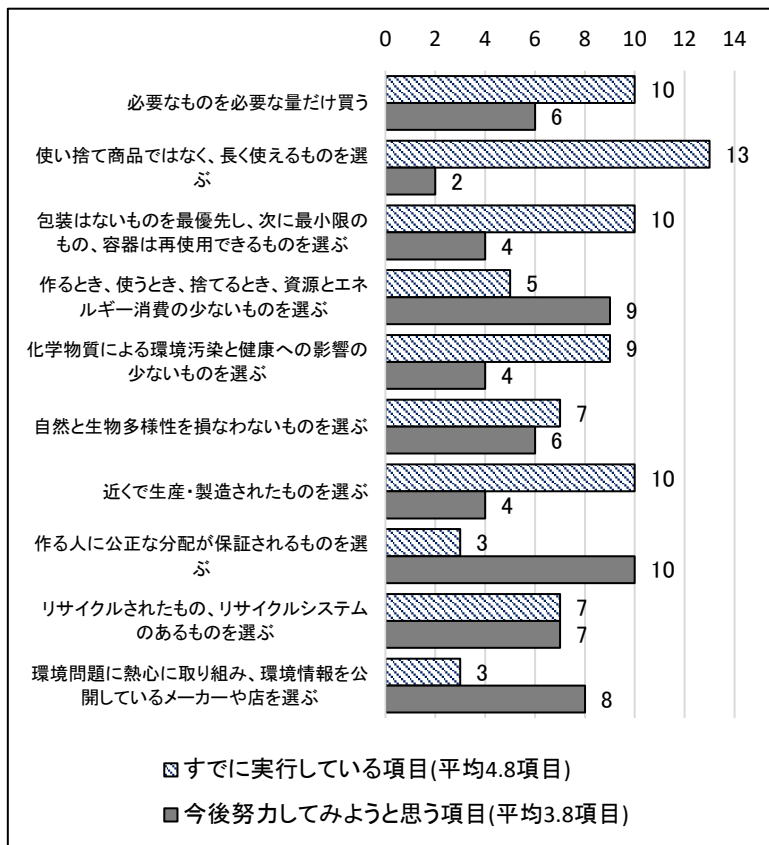


グリーンコンシューマーとは、一般的には、環境に良い商品を選んで買う意識の高い消費者、さらに価格が高くても環境に良い商品を買う消費者、環境にとって良い企業活動を行うように監視する消費者、環境に悪い商品や企業を拒否する消費者の総称として用いられています。

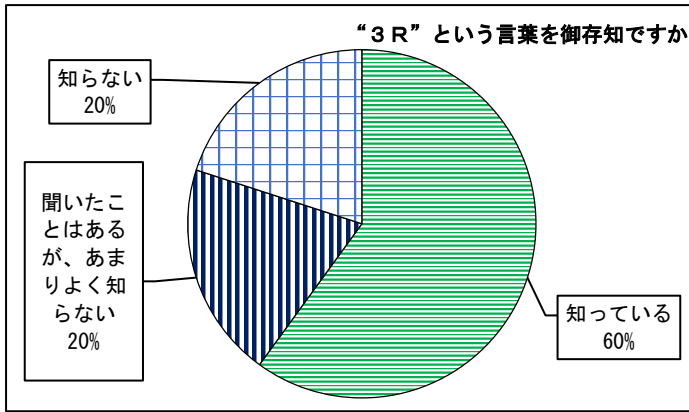
◎「聞いたことがあるが、内容は知らない」「知らない」と回答した方が、「知っている」と回答した方を上回る結果となりました。

2 グリーンコンシューマー10原則の中で、【既に実行している項目】【今は実行していないが、今後努力してみようと思う項目】が、あれば回答欄に○印をしてください。(複数回答可)

グリーンコンシューマー10原則	
※ グリーンコンシューマー全国ネットワーク著「グリーンコンシューマーになる買い物ガイド」より	
1	必要なものを必要な量だけ買う
2	使い捨て商品ではなく、長く使えるものを選ぶ
3	包装はないものを最優先し、次に最小限のもの、容器は再使用できるものを選ぶ
4	作るとき、使うとき、捨てるとき、資源とエネルギー消費の少ないものを選ぶ
5	化学物質による環境汚染と健康への影響の少ないものを選ぶ
6	自然と生物多様性を損なわないものを選ぶ
7	近くで生産・製造されたものを選ぶ
8	作る人に公正な分配が保証されるものを選ぶ
9	リサイクルされたもの、リサイクルシステムのあるものを選ぶ
10	環境問題に熱心に取り組み、環境情報を公開しているメーカーや店を選ぶ



【問2】 川崎市では、地球環境にやさしい持続可能なまちの実現をめざして、「ごみ減量 未来へつなげるエコ暮らしプラン（＝川崎市一般廃棄物処理基本計画）」を策定し、取組みを進めています。
あなたは、「3R」という言葉を御存知ですか。



“3R”とは、Reduce（リデュース）⇒発生・排出抑制：物を大切に使い、ごみを減らすと。Reuse（リユース）⇒再利用：使える物は繰り返し使うこと。Recycle（リサイクル）⇒再生利用：ごみを資源として再び利用すること。の言葉の頭文字の3つのRのことです。

【具体的に】

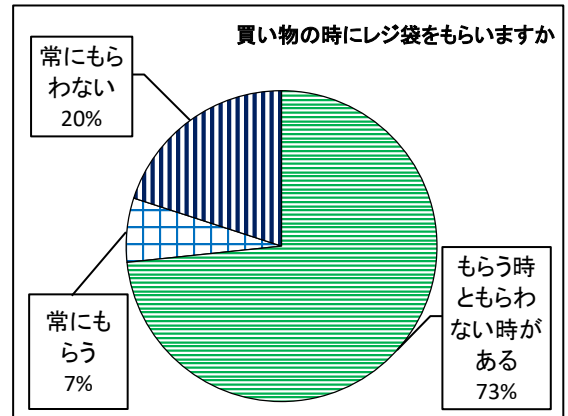
- ・ゴミの分別を実行している。
- ・リユース容器の物を買うようにしている。

◎ 「知っている」と回答した方が、「聞いたことがあるが、よく知らない」「知らない」と回答した方を上回り、前年度と比べ「知っている」と回答した方の比率が上がりました。

【問3】 不要なレジ袋の削減は、日常生活の中で最も身近で誰でも取り組むことができる環境に配慮した行動です。地球温暖化対策の推進と循環型社会を構築するために、レジ袋はもらわない、配らないといった市民・事業者の身近な行動が重要です。今後も、環境配慮型ライフスタイルの確立に向けた取組の一つとして、市民・事業者・行政の協働によるレジ袋の削減や、マイバッグの使用等の取組を促進するため、次のことについて伺います。

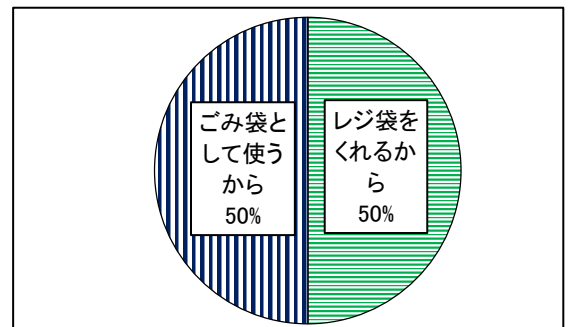
1 買い物の時にレジ袋をもらいますか？

- ① 常にもらう
- ② 常にもらわない
- ③ もらう時ともらわない時がある



2 1でレジ袋を ① 常にもらう と答えた方にお伺いします。レジ袋をもらう理由は何ですか。

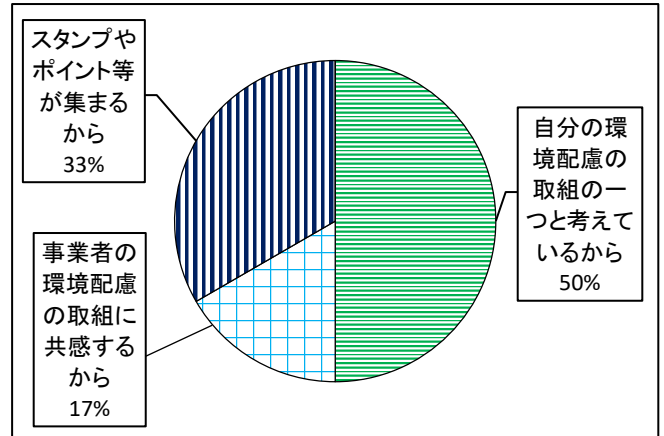
- ① レジ袋をくれるから
- ② 購入品の入れ物として必要だから
- ③ ごみ袋として使うから
- ④ その他



◎ 「ごみ袋として使うから」「レジ袋をくれるから」と回答した方が、それぞれ全体の半分となりました。

3 1でレジ袋を ② 常にもらわない と答えた方にお伺いします。レジ袋をもらわない理由は何ですか。

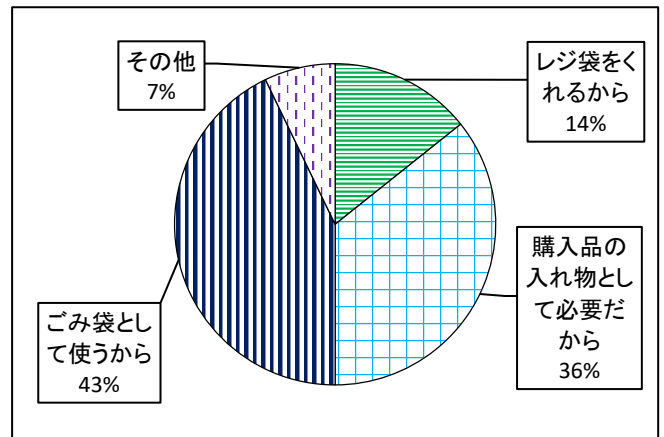
- ① 自分の環境配慮の取組の一つと考えているから
- ② 事業者の環境配慮の取組に共感するから
- ③ スタンプやポイント等が集まるから
- ④ その他



4 1でレジ袋を ③ もらう時ともらわない時がある と答えた方にお伺いします。

レジ袋をもらう時の理由は何ですか。

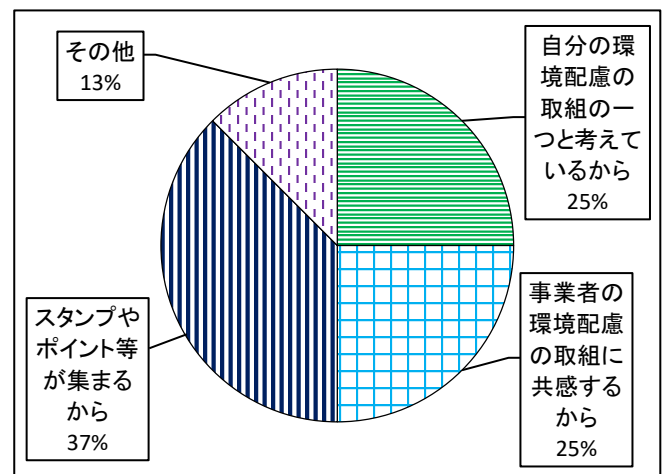
- ① レジ袋をくれるから
- ② 購入品の入れ物として必要だから
- ③ ごみ袋として使うから
- ④ その他
 - ・スタンプやポイントを導入していない時



5 1でレジ袋を ③ もらう時ともらわない時がある と答えた方にお伺いします。

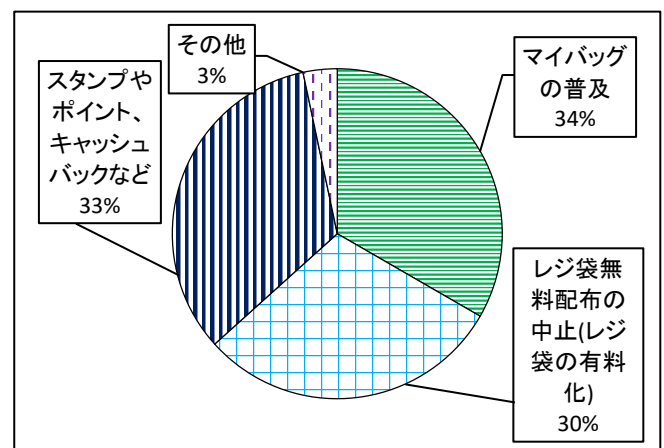
レジ袋をもらわない時の理由は何ですか。

- ① 自分の環境配慮の取組の一つと考えているから
- ② 事業者の環境配慮の取組に共感するから
- ③ スタンプやポイント等が集まるから
- ④ その他
 - ・購入物が少ない時
 - ・持参のバッグで十分な時



6 レジ袋削減の取組には、何が有効だと思いますか。(複数回答可)

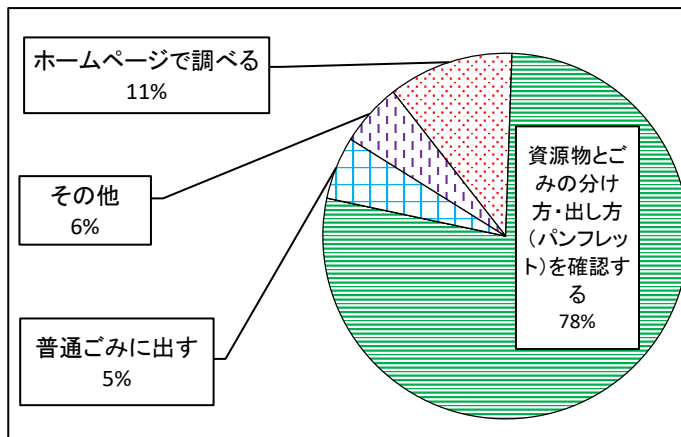
- ① マイバッグの普及
- ② レジ袋無料配布の中止(レジ袋の有料化)
- ③ スタンプやポイント、キャッシュバックなど
- ④ その他
 - ・マイバッグは配布しすぎもごみのもとになる
 - ・初めからない物と思っていればいらぬ。社会が一致して行ってほしい。
 - ・お客様に特典があるとレジ袋削減につながる



【問4】 資源物とごみの分別について伺います。

1 資源物とごみの分別に迷った時にどうしてしていますか。

- ① ホームページで調べる
- ② 資源物とごみの分け方・出し方（パンフレット）を確認する。
- ③ 「川崎市ごみ分別アプリ」で調べる
- ④ 生活環境事業所に問い合わせをする
- ⑤ 普通ごみに出す
- ⑥ その他



2 資源物とごみの分別に迷った時に活用できるスマートフォンアプリ「川崎市ごみ分別アプリ」を知っていますか。

- ① はい 0%
- ② いいえ 100%



3 「川崎市ごみ分別アプリ」を使ったことがありますか。

- ① はい 0%
- ② いいえ 100%

◎設問2・3ともに「いいえ」が100%で、認知度が低いという結果になりました。

【問5】 「ミックスペーパー」と「プラスチック製容器包装」の分別収集について伺います。

1 ミックスペーパーをどのくらいの頻度で出していますか。

- ① 毎週 80%
- ② 2週間に1度程度 7%
- ③ 月に1度程度 13%
- ④ 出したことがない 0%

2 ミックスペーパーを分別することをどう感じていますか。

- ① 分別はわかりやすく、簡単である 93%
- ② 分別はわかりやすいが、面倒だと思う 7%
- ③ 分別はわかりにくい、わかる範囲で出している 0%
- ④ 分別はわかりにくく、ほとんど分別していない 0%
- ⑤ ミックスペーパーの分別を知らない 0%

◎回答者全員がミックスペーパーの分別をしており、分別方法もわかりやすいと感じているという結果になりました。

3 1で ④ 出したことがない と答えた方に質問します。理由について、該当するものに○印をお願いします。

- ① 対象物がないから 100%
- ② 資源集団回収収集日に出しているから 0%
- ③ 分別の方法が分からないから 0%
- ④ その他 0%

4 プラスチック製容器包装をどのくらいの頻度で出していますか。

- ① 毎週 75%
- ② 2週間に1度程度 13%
- ③ 月に1度程度 6%
- ④ 出したことがない 6%

5 プラスチック製容器包装を分別することをどう感じていますか。

- ① 分別はわかりやすく、簡単である 57%
- ② 分別はわかりやすいが、面倒だと思う 14%
- ③ 分別はわかりにくい、わかる範囲で出している 29%
- ④ 分別はわかりにくく、ほとんど分別していない 0%
- ⑤ プラスチック製容器包装の分別を知らない 0%

◎プラスチック製容器包装の分別は約3割の方が分かりにくいと感じている結果となりました。

6 4で ④ 出したことがない と答えた方に質問します。理由について、該当するものに○印をお願いします。

- ① 対象物がないから 0%
- ② 分別の方法が分からないから 0%
- ③ その他 100%
- ・ゴミ捨て場が非常に遠いため

【問6】 拠点回収事業について伺います。

1 川崎市では、拠点回収事業として、小型家電・布類・牛乳パック・蛍光管・インクカートリッジを区役所等市内公共施設に回収ボックスを設置し、回収していますが、ご存知ですか。

- ① はい 63%
- ② いいえ 37%

2 1で ① はい と答えた方に質問します。それは、どこでお知りになりましたか。(複数回答可)

- ① 市政だより 44%
- ② 自治体・町内会からの回覧物 25%
- ③ 市のホームページ 0%
- ④ 区民祭等のイベント 6%
- ⑤ その他 25%

- ・人から聞いて
- ・回収ボックスを直接見かけて



3 現在、拠点回収場所を次のとおり(※1)設置しています。今後新たに公共施設に設置する場合、どこに設置するとよいと思いますか。

(※1) 区役所、支所、出張所、生活環境事業所、ヨネッティー堤根・王禅寺、橋りサイクルコミュニティセンター、かわさきエコ暮らし未来館・王禅寺エコ暮らし環境館、CC かわさき交流コーナー（高津市民館内）
※品目によっては、設置していないものもあり

・図書館

◎公共施設に限らず大型ショッピングセンターやスーパーマーケット、駅などに設置されれば便利との意見がありました。

【問7】 資源集団回収についてお聞きします。

1 お住まいの地域では『資源集団回収』が実施されていますか。

- ① 実施されている 88%
- ② 実施されていない 0%
- ③ わからない 12%

2 地域で行われている『資源集団回収』を利用していますか。

- ① 利用している 88%
- ② 利用していない 12%

3 2で「① 利用している」とお答えした方に質問します。お住まいの地域の回収頻度を教えてください。

- ① 毎週1回 43%
- ② 毎週2回 0%
- ③ 毎月1回 36%
- ④ その他 21%

『資源集団回収』とは、町内会や自治会、PTA等地域の市民で組織される団体が、回収日時・回収場所を決め、新聞・雑誌・段ボール等の資源化物を持ち寄り、回収業者に引き渡す活動です。ごみの減量・リサイクル推進のため、地域で行われている『資源集団回収』へのご協力をお願いします。



◎その他の意見には品目によって曜日が分かれている地域がある、マンションに回収場所が常時設置されている、という意見がありました。

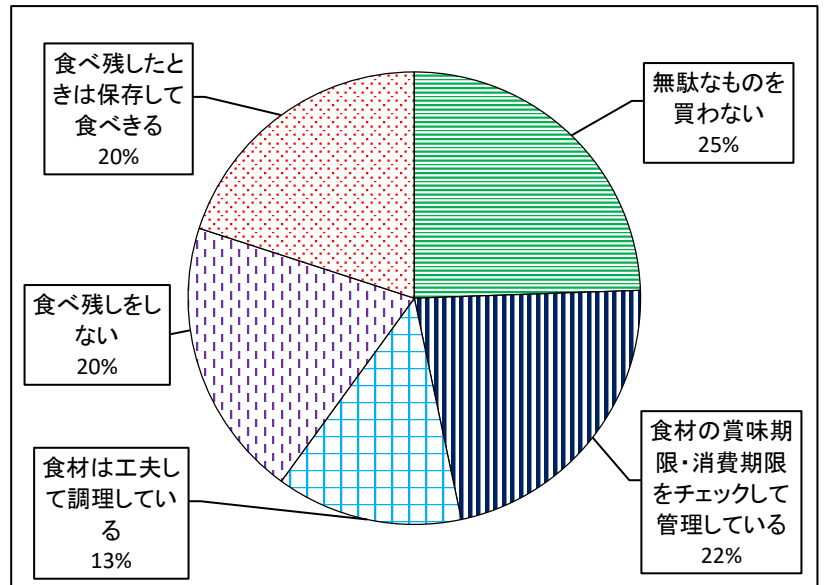
4 2で「② 利用していない」とお答えした方に質問します。利用していない理由を教えてください。

- ① 近くに回収場所がないため 0%
- ② 回収頻度が少ないため 50%
- ③ 実施しているか分からないため 50%
- ④ その他 0%

【問8】 生ごみについてお聞きします。

1 生ごみの発生量を少なくするために、何か取組をしていますか（複数回答可）

- ① 無駄なものを買わない
- ② 食材の賞味期限・消費期限をチェックして管理している
- ③ 食材は工夫して調理している
- ④ 食べ残しをしない
- ⑤ 食べ残したときは保存して食べきる
- ⑥ 特に何もしていない



2 生ごみの80～90%は水分で、この水分を減らすことで臭いの問題などを軽減でき、運搬に伴う燃料の消費量を減らすことができると言われています。生ごみの水分を減らすために、何か取組をしていますか。

- ① 生ごみを絞ったりして水切りしている 73%
 - ② 風通しのいいところで乾燥させている 14%
 - ③ 電動生ごみ処理機で乾燥させている 0%
 - ④ 特に何もしていない 13%
- ・その他に肥料として利用しているという意見がありました。

3 生ごみはどうしてもごみとして出るものですが、ごみとして出さない取組として、生ごみ処理機やコンポストにより堆肥化するリサイクルがあります。このようなりサイクルをしていますか。

- ① 既に取り組んでいる 12%
- ② 関心はあるが取り組み方がわからない 50%
- ③ 知らないのやっていない 25%
- ④ 手間や負担が大きそうなので特に何もするつもりはない . . . 13%

4 生ごみの減量化・資源化の取組として、生ごみリサイクルの手法について紹介やアドバイス等を行う取組をしていますが、次のいずれかについて、受けてみたいと思うものを教えてください。（複数回答可）

- ① 生ごみリサイクル講習会（年に1～2回開催）※無料 60%
- ② 生ごみリサイクル相談会（年に2～3回開催）※無料 20%
- ③ 生ごみリサイクルリーダーの派遣
（依頼内容に基づき講習やアドバイスを行う）※無料 0%
- ④ 特に関心はない 20%

5 飲食店からは、食べ残しによる食品廃棄物が多く発生しているため、川崎市では食べきりを推奨している店舗を「食べきり協力店」として認定するなど、食品廃棄物の減量化に向けた取組を実施しています。飲食店で食べ残しを減らすための取組として、どのような取組が有効だと思いますか。（複数回答可）

- ① 食べきりを推奨するポスターを飲食店に掲示する。 14%
- ② 注文時に「ご飯少なめができます」などの呼びかけをする。 . 22%
- ③ 半ライス・ミニ〇〇などの小盛メニューの提供をする。 28%
- ④ ドギーバックなどの持ち帰り用パックを提供する。 22%
- ⑤ その他 14%

- ・ 少な目は多少価格を安くする、適正価格での料理の提供
- ・ 積極的なPR活動 等

【問9】 今後は、地球環境全体を視野に入れ、「ごみをつくらない社会」「市民・事業者・行政が協力し合える関係」が必要だと思われます。私たち一人ひとりが、資源を大切にし、環境に極力負担をかけない生活スタイルにしていくと共に、そうした気持ちを実際に生かしていかなければなりません。『実現に向けての御意見』や『これからの決意』、『わかっているが、なかなかできないこと』などがございましたら御自由に御記入ください。

ア 実現に向けてのご意見

- ・ 物を買うときには、本当に必要かどうかを良く検討してから購入するように実行していくことが大切だと思っています。
- ・ 無駄な包装の排除。
- ・ 学校の給食の残りがもっと少なくてできるように学校とも話をしたいと思っています。
- ・ リサイクルできる資源をゴミ置き場にお知らせする。
- ・ 家庭内でごみを減らそうとしても、店やスーパーで白や透明のトレーに入れて販売されていることが多い。トレーを使わない売り方をもっと考えて欲しい。トレーに入っていない方を安くする等。
- ・ 街宣活動の積極的実施。分別回収と併せてゴミ量を減らす取組を少なくとも週1回は町内で聞くことがある位まで積極的に行う。
- ・ 標語などを作りきめ細かくはって宣伝する。
- ・ 各地域に集めに来る車などで、協力をしつこく呼びかける。
- ・ 行政の呼びかけに協力、大きな効果があった者（又は団体）を表彰する。
- ・ 昔の生活に戻り、極力買わない。
- ・ 小学校から教育の一環として環境問題に取り組む授業を設ける。本来は、家庭でも実践されれば良いが、親の世代に、このような知識に関心のない人が多く、公共広告（TVでの放送、スマートフォンにテロップで流す等）を活用して広めてほしい。日本に居住している人がルールを守るようにしたい。躰も重要で、ポイ捨てしないような、ゴミがあったら拾って片づけるような社会になってほしい。2020年のオリンピックを控え、海外からの観光客や移住者が増える中、まず住んでいる国民が意識を変えることが重要だと思う。
- ・ レジ袋削減のためにコンビニやスーパーで袋はご利用ですかと声掛けを常に行うようにすること。そうすることでレジ袋の削減が実現していく。

次ページへつづく

- 街がきれいだと犯罪が少ないと言われます。渋谷の繁華街が残念です。シンガポールでは旅行・観光者はチューイングガム持ち込み禁止・罰金(1万ドル)、電車内では飲食禁止、街ではつば吐き・喫煙をしたら罰金 1,000 ドルです。世界レベルできれいにしていきましょう。まずは家庭からできる事をしてゴミに対する意識を持ちましょう。一人一人が変われます。
- 有料で良いのでリサイクル推進エリアへの研修ツアー。(個人ではいけないから)

イ これからの決意

- 無駄のないようできるだけシンプルライフにすること。
- 今まで通り無駄を省き、いらぬものは買わない、ごみも最小限で抑える、毎日工夫して環境を良くする。
- 環境家計簿を作り、毎日どれだけ協力できたか集計する。
- めんどくがらない。
- 家での生ごみをもっと減らすために、メニューを考え無駄なものを買わないようにし、冷蔵庫に入っているものの消費期限をちゃんと見えるようにしたいです。
- 物を買うときは繰り返し考えてから購入することの他に野菜などで手軽に作れそうなものは家庭で栽培するなど工夫していきたい。
- 地球温暖化が問題になっており、異常気象が全国で多発している昨今、ゴミの分別は必要不可欠であり、我々国民一人ひとりにゆだねられていると思う。食品ロスについては日本では年間 632 万トンにも上っているそうです。私たちができる事は無駄な物は買わない。ゴミを減量化し、地域の自治体と一緒にゴミのリサイクルに参加をすることではないか？考えていきたい。
- 更なるゴミの分別努力。
- 商品購入時に過剰な包装を断ること。ごみの分別収集について、プラスチックごみについては嵩張るものは重ねたり小さく切ったりして工夫すること。プラスチック類とペット類を間違えないように表示を確認すること。
- 何か買うときは必ずエコバッグを持って買い物に出かけること。
- エコバッグの持参、リサイクル BOX の活用、必要以上に購入しない。(なるべく献立を決めて買い物する)

ウ わかっているが、なかなかできないこと

- 買い込んでしまう。
- 生ごみ処理機やコンポストについては知っているが、土地がなく、庭のないマンションや、狭小住宅に住んでいる私どもの家も協力することができていないので心苦しく思うことがある。特に夏場のゴミ収集 BOX は臭いやゴミの水分が垂れて大変なことになっていることが多い。ゴミ回収車の職員さんに不快な思いをさせないように心掛けたい。
- 一切の見栄を捨て、自分が信じるエコ活動を行えるか。
- 子どもがたくさんいるので、時間がないときはミックスペーパーに出せるものでも、たまに普通ごみに入れてしまう時があります。将来の子どものために少しでも環境の良い状態が続くように努力したいです。

次ページへつづく

- 生ごみコンポストの設置(虫や臭いの発生等、マンションやベランダではハードルが高く取り組めません)
- これくらいなら良いだろうを改め、一歩進んで止めてみる。けちと節約の違いをはっきり認識する。毎月の生活習慣を見直す。
- 価格が安いときなど、在庫で購入してしまう日用品や食材が多くある。
- ペットボトル飲料の購入。
- 周囲に広めること。ゴミやタバコの吸い殻をポイ捨てする人への注意をすること。
- バイクをよく利用しているので、なるべく自転車を使うようにしたい。
- 時間がなく、忙しいとつい出来合いの総菜を購入して、自分の好みに合わない捨ててしまう事があり、ゴミを作ってしまう。忙しくても自分で作り適量の食事作りがなかなかできない。

エ その他御自由に御意見をお願いします。(一部抜粋)

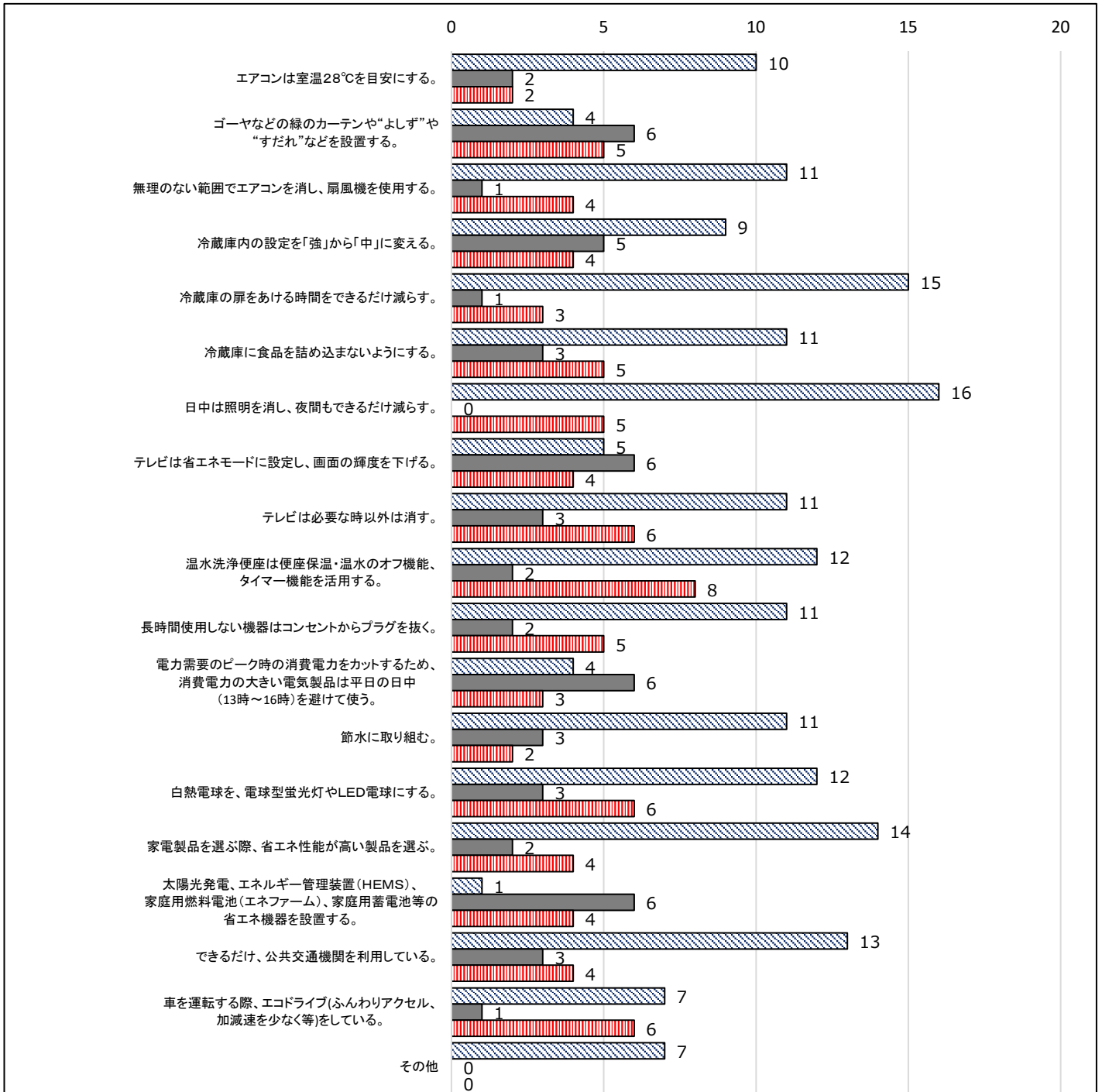
- 色々な工夫・知恵・アイデアを考えてなんとか良い環境を作れたら。昔から比べてごみの区分けやエコ活動が進んできたと思います。もっともっと考えて、良い方法があると思います。エコ活動のアイデア賞がもらえるようにがんばりたいと思います。
- 自分だけ環境問題の取り組みをしなくても変わらないだろうと思う時がありますが、一人一人が頑張らないと、どんどん地球環境がよくなり、未来…温暖化など外で遊ぶことができなくなったり、暑さがきつく歩くのも大変になり、みんなが車で移動したり…。どんどん悪影響になっていきます。自分ができる小さな事を少しずつ努力していきたいと思います。
- ペットボトルのリサイクル
- 今回消費者モニターとして感じた事です。配布物の多さに驚いています。
例えばゴミの分別等のパンフレットにおいても余りにも種類が多く、これでは家に置けず一括してミックスペーパーに出してしまいます。一冊にまとめてあれば利用する人も増えるのではないのでしょうか。ごみ減量を推奨しているお役所がこんなことをしているのが大きな疑問です。社協、民生委員の資料についても同じことが言えます。もっとコンパクトに必要なもののみを作成してください。私たち市民の税金なので。
 - 例えば企業で自社製品が残ったら、自分の所(牧場などがあれば)餌にしてリサイクルする。
 - 自分の所で不要な物はバザーに提出する。
- ごみの種別や収集日に関係なく、ごみ置き場に出されていることが多く気になります。通り沿いの集積所が不法投棄により荒れている現状を見ている。張り紙をしたりして注意喚起をしても、すぐには解決出来ず、清潔に保つことの難しさを感じました。
街並みを整理整頓することが大事だと思います。区役所の管理課や衛生課の部署で指導を行って、見通しの良い街にすれば、防犯対策としても効果があるのではないかと思います。
ごみは私たち生活の役に立った後のもの、敬意をもって捨てるべきなのです。小さい頃からの躾、日ごろの行いで習慣になっていないと出来ないものなのかも知れません。家庭ごみも企業ごみも、人に関わる問題なので、皆で考え実行したいものです。
東京オリンピックに向けて、美しい日本を目指して、身近から気を使っていきたいと思っています。

Ⅱ 節電・省エネ等について

【問1】 日常生活において節電や省エネを意識していますか。該当するもの1つに○印をお願いします。

- ① 非常に意識している 56%
- ② ある程度意識している 44%
- ③ あまり意識していない 0%
- ④ 意識していない 0%

【問2】 家庭で取り組んでいる（取り組む予定）の節電・省エネ対策についてお聞きします。



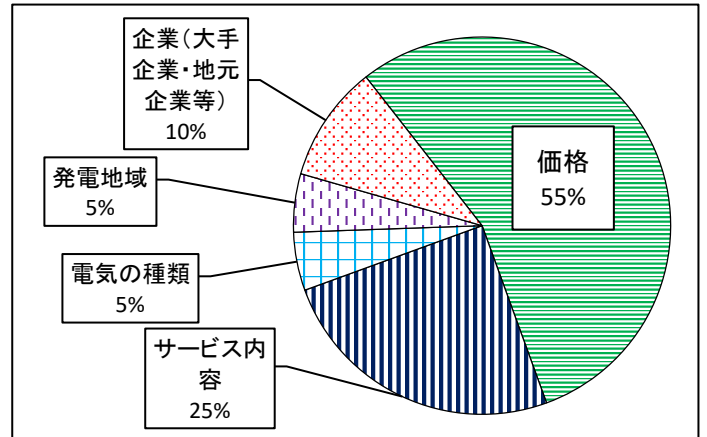
- 現在、個人や家庭でどのような節電・省エネ対策を行っていますか。
- これから新たに取り組もうと思っている節電・省エネ対策はありますか。
- 無理なく取り組むことのできる節電・省エネ対策はどのような取組ですか。

◎その他（具体的に）

- ・玄関の人感センサーの点灯している時間設定を最短の時間で設定した。冷蔵庫内に保管する場所をいつも定位置とした。それにより捜すことがないので開けている時間が短くて済む。
- ・早寝・早起き、常に太陽光を利用している。テレビはほとんど見ない。（夜間）
- ・歩けるところにはなるべく歩いて行くようにしています。
- ・打ち水。風呂の残り水で水やり。
- ・街灯・門灯は21時には消灯する。
- ・水を水道の蛇口から出す時は鉛筆の細さでOKを広めたい。

【問3】 平成28年4月から、一般家庭等すべての需要家が電力会社を選べるようになりましたが、電力会社を選ぶ際、何を重視しますか。

- ①価格
- ②サービス内容
- ③電気の種類
- ④発電地域
- ⑤企業（大手企業・地元企業等）



【問4】 川崎市では、平成22年12月から川崎市地球温暖化防止活動推進センターを指定し、地球温暖化防止対策の普及啓発を推進しています。地球温暖化防止活動推進センターでは、高津市民館内に設けた情報発信拠点「CCかわさき交流コーナー」を運営し、地球温暖化防止対策に関する取組の相談・パネル展示・講座の開催等を行っています。

(1) CCかわさき交流コーナーについて、①～④中でもっとも近い回答に、○印を付けてください。

- ①行ったことがある。 6%
- ②知っている。 0%
- ③聞いたことがある。 6%
- ④知らない。 88%

・CCかわさきが高津市民館内にしかないのが残念

(2) 問4の(1)で①行ったことがある、②知っている、③聞いたことがあると答えた方に質問です。どこで『CCかわさき交流コーナー』の情報を得ましたか。当てはまるものすべてに○印をお願いします。

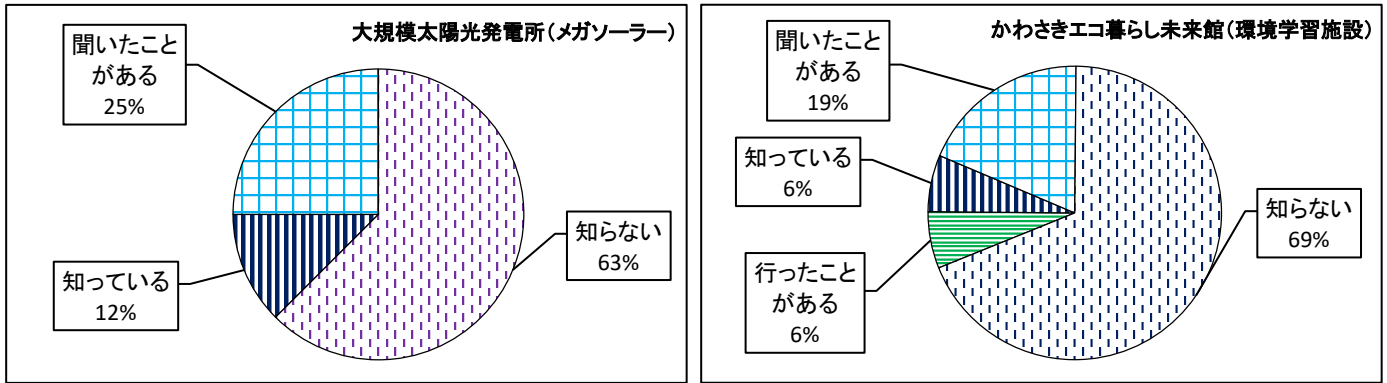
- ① 新聞・雑誌 0%
- ② テレビ・ラジオ 0%
- ③ 市政だより 50%
- ④ 環境情報（市発行の冊子） 0%
- ⑤ その他市発行のチラシ等 0%
- ⑥ インターネット 0%
- ⑦ 実際に行った人から聞いた 0%
- ⑧ その他 50%
- ⑨ わからない 0%



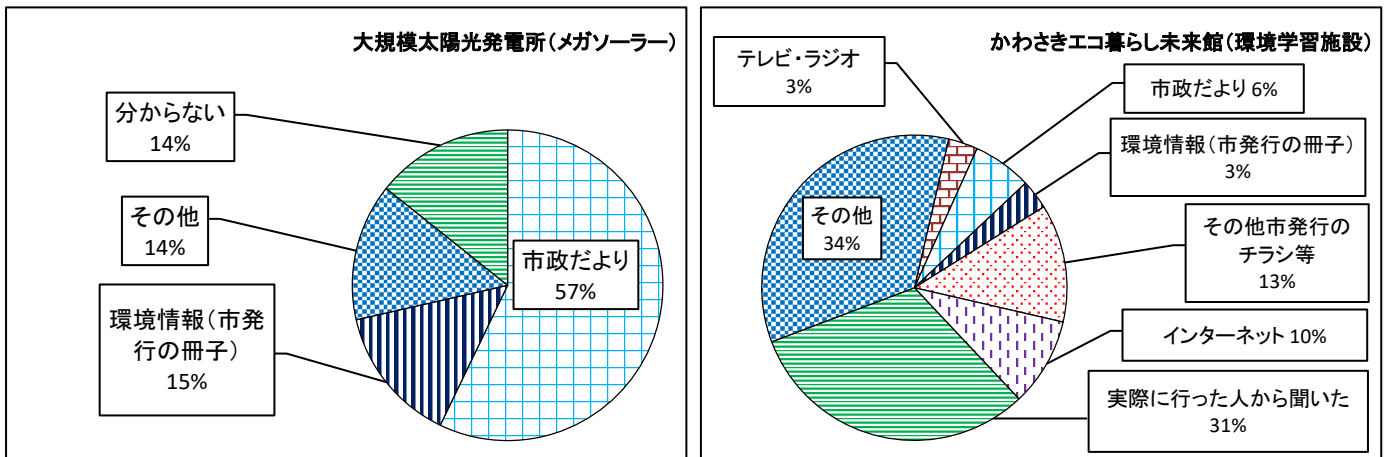
【問5】 川崎市内には、国内最大級の大規模太陽光発電所があります（メガソーラー）。また、浮島町にはメガソーラーを始めとした再生可能エネルギーや、地球温暖化について体験的に学べる「かわさきエコ暮らし未来館」があります。

再生可能エネルギーの普及に向けた様々な取組を川崎市では行っているところですが、今後の普及・啓発の取組みの参考とするため、次の問にお答えください。

(1) 川崎市にある大規模太陽光発電所（メガソーラー）、かわさきエコ暮らし未来館（環境学習施設）についての質問です。それぞれについてももっとも近いものを選んでください。



(2) 問7(1)で①行ったことがある、②知っている、③聞いたことがあると答えた方に質問です。どこで各施設の情報を得ましたか。当てはまるものすべてに○印をお願いします。



【問6】 節電対策や省エネ等についての御意見等ございましたら、自由に記入して下さい。

- メガソーラーはとても良いと思う。水力発電などできる事はやってほしい。
- 必要な時だけ電気をつけるようにし、水もだしっぱなしはもったいないので必要な時だけ使う。
- 家電の買い換え時は年間電気代が少ないもの（エコ）を購入しています。
- 東日本大震災の後は節電が叫ばれ、空調も弱いほどでしたが、その節電もすっかり忘れ去られ、中原市民館やスーパー、電車内どこも寒くて防寒対策に苦労している次第です。もう一度考え直すPRをしてほしい。
- 家でもソーラーの設置を考えましたが、価格が高いためやめました。環境のために設置しないといけないなあと思いました。これ以上温暖化にははいけませんね。何かしら自分にできる省エネをしたいと思えます。
- メガソーラーもかわさきエコ暮らし未来館もモニター研修や見学ツアーで行きたい。